

『環』の公共事業 構想ガイドライン

		作成年月日	平成18年1月24日	
		作成部署	土木建築部住宅課	
事業名	府営住宅整備事業		地区名	(仮称) 榎島団地(宇治市内)
概算事業費	約29億円		事業期間	3年
事業概要	宇治市榎島地区において、桃山日向団地建替事業及び宇治市周辺の団地集約の受皿とするため、150戸の公営住宅の新規建設を行う。			
関連する公共事業	平成18年度から下水道接続工事を実施し、引き続き道路整備工事等を実施予定。			
評価項目		施工地の環境特性・目標	環境配慮・措置内容	環境総合評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO ₂ 排出量等) 地形・地質 土砂移動 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・施工地は緑地の少ない宅地や工業地域に隣接しているため、住宅建設にあたっては周辺のヒートアイランド現象緩和のため、極力緑地を創出することが必要。	・新規建設を行う府営住宅の屋上についても緑化を行うことにより、緑地面積を増やす。	
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・地域住民の良好な住環境を確保するため、住宅建設にあたって緑化や付近への日照・通風についての配慮が必要。	・敷地内空地部に緑地、児童遊園等を配置する。 ・団地内及び周辺の日照・通風等にも配慮した配置計画を行う。	
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・住宅建設にあたっては近隣の宅地など、周辺景観に違和感を感じさせない建設デザインとすることが必要。	・周辺住宅の景観に配慮した建物の形状や配色などのデザインを採用する。	
地域の環境像	施工地周辺は、近隣に宅地や畑、工場などが広がる準工業地域であり、良好な環境の創出が必要。そのため敷地内にできるだけ多くの緑地を増やすとともに、地域の景観に配慮した建物デザインを採用するなど、住環境の維持改善を図っていく必要がある。			
特記事項				

「環境総合評価欄」: 別紙の環境評価に基づく総合評価を記載する。(改善、中立、悪化×)